

はじめに

平成27年度から別府大学では全学共通のカリキュラムである教養科目群学際科目に「世界農業遺産体験学習」が新たに加わりました。平成25年5月30日の国連食糧農業機関(FAO)国際会議において国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されたのを受け、別府大学夢米(ゆめ) 棚田チームは、毎年、大分農業文化公園内の棚田で稲作りのほかに七島藺(シチトウイ)の栽培も体験させていただくという貴重な機会に恵まれました。そして、七島藺栽培を始めて3年目となる今年度は、正規の授業として、七島藺のほかに国東半島宇佐地域の世界農業遺産についてもさらに広く深く学ぶことができました。

別府大学と大分県および大分農業文化公園が「大分農業文化公園棚田プロジェクト」協定を結んで今年で丸6年が経ちますが、学生たちは夢米(ゆめ) 棚田チームとしての活動に、その名の通り、ますます夢をふくらませています。

思い起こせば、平成21年の夏、当時の大分県農林水産部審議監であった森下幸生氏から「学生たちの中に農業体験に興味を持つ人がいますか」とお声をかけていただいたのがこのチームの結成と活動のきっかけとなりました。発足当時、女子学生の中には、「今いちばん熱いのは農業体験よ」と、友人たちに呼びかけ即入会した人もいました。男女を問わず、興味・関心を持つ学生は多く、大分県と大分農業文化公園のご理解・ご支援のお陰で200名のチームに成長しました。

今、大学をはじめとする教育機関は体験学習を通して座学では学べない様々なことを学習するアクティブラーニングの推進、また、地域連携の推進が求められており、この科目がまさにそれらに答えてくれるものの1つであろうと期待しているところです。

棚田チームはこれからも工夫を重ね、より一層実りある活動となるよう努力を続けて参りますので今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

棚田プロジェクトにご協力をいただいているすべての皆様方に心より感謝を申し上げますとともに今後の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

平成 28 年 2 月

別府大学食物栄養科学部長 江崎 一子